

今回の瓦版は、会員以外の世帯にも
配布させていただいています！

* 瓦版は、3月・7月・11月の年3回の発行です。

* 本瓦版(pdfファイル)は、4月1日以降に、連携ホムページ「富田林寺内町の探訪」からダウンロードすることもできます。

第54号 発行・編集 / 富田林寺内町をまもり・そだてる会

富田林市富田林町9-29 (じないまち交流館)

平成25年03月27日

(1)



JINAIMACHI KAWARABAN Vol. 54

瓦版 / 54号



題字 / 畠田 彩華さん 8歳 (一里山町)

第6回じないまち交流館来館者アンケート

★アンケート調査方法★

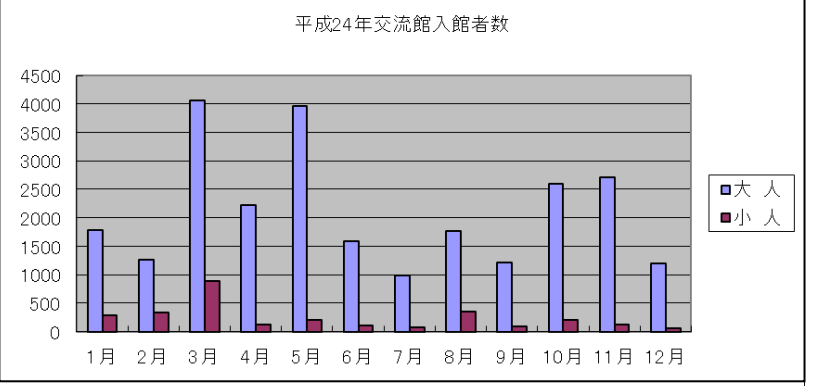
期 間 : 平成24年1月7日～平成24年12月27日

回答方法 : 選択式6問、自由意見1問について、じないまち交流館に設置してある
所定のアンケート用紙に記入し、回収箱に投函してもらう。

回 答 数 : 175人

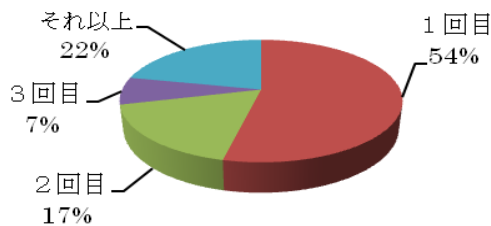
総入館者数 : 28,214人 《(参考)平成23年:22,693人》

(入館者数が多い3月は雛めぐりのイベントが行われた月です。)

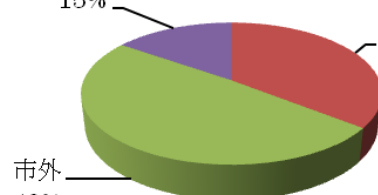


平成24年1月～12月までの来館者アンケート集計結果

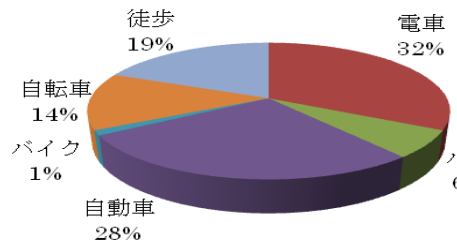
寺内町へは



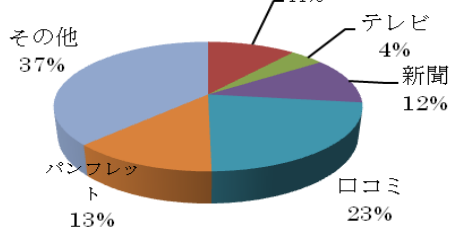
どちらから



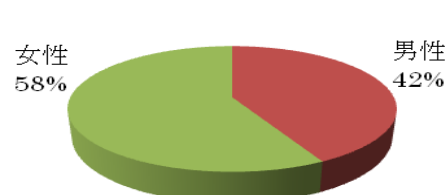
アクセス



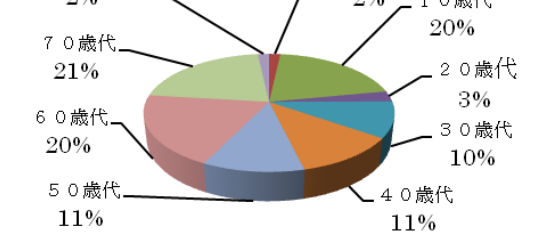
情報は何で



性別



年代



☆ご意見・ご感想

【10歳代】

- 道が広く、塀が高く、十字路ばかりで迷路を歩いているように感じ、興奮した。
- 近くに歴史を感じる場所があるのをはじめて知ってまた来たいと思いました。引っ越してきたばかりで、大阪にこういう町並があると思わなかったのがびっくりしました。8月のお祭にも来てみたいです。今日見てない所を又来て全部見たいと思いました。
- すごい昔のお家みたいのがいっぱいあってびっくりした。さいしょは夜でこわかったけど、朝になったらすごくきれいだった。
- 私はふんいきが大好きです。また、来ます。

【20歳代】

- 日曜日、お休みの所もあり、残念でしたが、町並みは素晴らしいです。

【30歳代】

- インターネットで拝見させていただいた以上に風情あり、都会の喧騒を忘れさせ、気持ちゆったりと寺内町の歴史に触れることが出来て、良い休日になりました。有難うございました。今のままの風情をずっと守り続けて下さい。
- 帰省ですが、すごく良い町だと感じ、又、帰ってきたという感じにさせてくれます。いつまでも残してほしいと思います。

【40歳代】

- 土・日にオープンしている店が増え、雑誌に載ったりしたら、もっとお客様が増えると思います。とてもいい町。
- スタンプラリーを開催してほしい。お寺・神社の公開などもしてほしい。
- ロードバイク(自転車)を立てて置けるスペースと台を設置していただけたとうれしいです。
- 【40歳代】
- 市内にこんなに素敵な街並みが残っていて嬉しい。交流館で一息つけるのも嬉しい。
- 町並みがきれいで、ゆっくりとみてまわれる事が、良かったです。
- 主人が以前、自転車クラブで来て、とても良かったと話を聞き、本日、自転車に乗りやってきました。美味しいおそばも食べられて良かったです。寺内町を知らない方はまだいると思うのでどんどん仲間に知らせて、また来たいと思います。

【50歳代】

- 昔の町並が、とてもなつかしく、タイムスリップした気持ちになる土地柄です。
- ヘルパーで利用者さんの散歩に同行しています。寺内町を歩いて、良い町並みやなあと、いつも楽しく散歩しています。
- 寺内町の町並の見所が多く、とても良いところだと思います。これからも、多くの皆様にアピールしてください。私も定年退職しましたら、この町に帰りたと思います。
- 交流館はとても素敵な場所だと思います。いろんな方々の努力のおかげですね。時々来て、癒されたい場所の一つになりました。ありがとうございました。

【60歳代】

- 交流館は初めて来た人には良い情報が得られる場所だと思います。ただ駐車場の位置がわかりにくかったです。
- 素晴らしい町なみでした。今井町など有名なところに比べても引けをとらない所なのに、私にとっては、無名でした。もっと、アピールすべきですね。
- 自治精神が生きた町並が現代の人々の意識にも反映されますように！惜しむらくは電柱。地下に埋設は無理でしょうか？
- 素晴らしい催しに参加させて頂き本当に嬉しいです。寺内町全体の取り組みに感謝です。これからも、ずっとずっと、この町を大切に保存活かして行って欲しいです。本日は本当に有難うございました。
- 交流館の職員の方はとても親切ですごく感じが良かったです。ゆっくり過ごさせて頂きました。有難うございました。何度も足を運びたいと思いました。
- 金剛地区に住む住民にはアクセスが悪く本当に困ります。なんとかありませんか。個々には言うておられるのをよく聞きます。
- 休日の5月5日は思ったより店が開いてなくて、少々がっかりでした。もっと見てたくさんのお楽しみがあれば、また来たいと思いました。
- 折角の町並なのにいつも寂しい感じがする。個人で頑張っている若い作家さん達にエールを送りたいので、地元・行政の人も、もっと力を入れて一日も早く人々が楽しく集まれる場所にしてほしい。

【70歳代】

- 素晴らしいです。寺内町はいつも着物で来たい。春・秋の楽しみ場所です。
- 交流館の寺内町紹介ビデオは、フルハイビジョンにしてほしい。
- 富田林駅から来ました。地図は案内所でいただきましたが、道順などの看板がなく、寺内町まで来るのがわかりにくかったです。いろいろな年代の人がおられます。わかりやすい案内板をつけてほしいです。
- 身近におりながら、こんなに立派な富田林の歴史的なことを少しも知りませんでした。この機会を機に知らない方々に良さを伝えて、また、見学に来たいと思いました。
- 初めて訪れ驚くことばかりの歴史の町。タウンウォッチングを十分楽しませていただきました。今後友達と一緒に秋にでも再度訪れてみよう。本当に有難うございました。いつまでも保存してください。
- 大変素晴らしい町並み、雛飾りの多彩な豪華さで感動しました。近鉄ハイキングに参加して参りました。
- 近くの河内長野市に住んでいますが、伝統的な建物を初めて見学出来まして嬉しく思います。今度は案内役として、もう一度来たいと思っています。
- 寺内町の核である興正寺が、いつも閉ざされているのが残念です。

富田林寺内町 来訪者 歓迎キャンペーン

こんにちは! 笑顔であいさつ 歓迎を

まもり・そだてる会活動報告

月	日	会議名	内容	場所
12	4	企画事業部会	・月見の会総括 ・初鍋めぐりについて	交流館
	6	役員会	・各部会の報告 ・初鍋めぐりについて	交流館
1	17	役員会	・各部会の報告 (特に初鍋めぐりについて)	交流館
	25	理事会	・各部会の報告	交流館
2	5	企画事業部会	・初鍋めぐり収支報告 ・雑めぐりへの取り組みについて	交流館
	7	役員会	・各部会の報告 (特に雑めぐりについて) ・理事会での意見・要望について	交流館
	19	研修部会	・理事研修会、会員見学会の反省	交流館
3	7	役員会	・各部会の報告 (特に雑めぐりについて)	交流館
	18	広報部会	・瓦版54号の確認 ・55号原稿について	交流館

まもり・そだてる会 会員見学会へ徳島県美馬市

平成二十四年十一月十八日(日)「うだつ」で有名な徳島県美馬市脇町へ六十二名の皆様と一緒に参加させていただきました。

当日は天候にも恵まれ昼過ぎに脇町に着き、我々は二班に分かれ、地区のガイドさんの案内にて、美馬市脇町の町並み見学会をスタート。(以下の『内』はガイドさんの説明です。)

『脇町は徳島県のほぼ中央、吉野川北岸にあつて、阿波特産の藍(藍染めの原料となるタデ科の植物)を販売する藍商を中心とした商人の町で、江戸期から明治期にかけて阿波藍の集散地として栄えた町です。舟着場跡も見ることが出来ます。』

また脇町は「うだつ」で有名な町で、昭和六十三年十二月十六日に全国で二十八番目の重要伝統的建造物群保存地区(商家町)に指定されました。

ところが、江戸時代に大火事が発生し、街並みが一瞬にして火の海となりました。それ以降、隣家に接する二階部分には、「うだつ」と呼ばれる火除けのための壁を設けた家が多くなり、今では日本でも珍しい景観を持った町並みとなっています。



地元のガイドさんによる説明

「うだつ」の町、脇町の町並



以上を旨、ガイドさんから説明して頂き、参加の皆様はうなずきながら、有意義な一日を過ごすことが出来ました。

また今年も是非皆様、会員見学会にご参加くださいますよう。(一里山町 泉 時代)

富田林寺内町の文化と伝統 山上参り体験記 (2)

さて、腹ごしらえが済み、いよいよ「裏行」です。急な岩場を登った下り下りして、4ヶ所の行場をそれぞれを唱えてから廻るの「裏行」です。直立の岩を鎖をたよりに落下の恐怖に襲われながらよじ登ったり、体一つ通るのがやっとなり立った岩の間を閉所の恐怖に耐えながら抜けたり、岩場から岩場へ覚悟を決めて飛んだりするので、なんといつとも一番怖かったのは、断崖に突き出た岩を命綱なしに回ってよじ登る「行」です。岩に足型が彫られていてそのとおりに行けば行けるんですよ、先導していただいた、先達や、入船さんや戸屋のおじさんに言われるのですが、なにしろ下を見ると、気を失いそうな断崖絶壁なのです。勇気をふるって、恐怖に耐えながらなんとか回りきりましたが、しばらく足の震えが止まらなかったのを覚えています。必死でしたので時間の経過はわからなかったのですが、一時間ほどの裏行を終えて龍泉寺宿坊に戻ると、待ち構えていた「講」の皆さんが、拍手で迎えてくれました。子供心に何か誇らしげに思ったことを覚えています。大人になつてから、時々「裏行」につきあうのですが、体重オーバーで文

☆交流館だより☆

- ◎ギャラリー展示予定
- 三月十六日～二十一日 遊覧会
 - 四月一日～三十日 木母会
 - 五月二日～三十一日 奥谷なおみ
 - 六月一日～十五日 石堂千代
 - 六月十六日～二十日 老犬こせ写真部
 - 七月一日～三十一日 松田全弘
 - 八月一日～三十一日 まもり・そだてる会
- 水墨画 書道展 トールペイント作品展 水彩画・油絵・陶芸・トンボ玉 写真作品展 寺内町写真展 寺内町燈路写真展

寺内町四季物語二〇一三「冬」 新春・初鍋めぐり

寺内町四季物語・二〇一三「冬」第五回のイベントが、一月二日(土)に開催され、地域の住民や団体の皆さんが、ぼたん鍋から雑煮、カニ汁、甘酒、うどん、中華そばなど二十箇所出店されました。

この日は薄曇りの天候でしたが、来場者二千五百人(富田林駅南地区まちづくり協議会発表)と昨年同様の人出となりました。

寺内町をまもり・そだてる会では交流館で今年も「ぼたん鍋」を販売。午前十時半頃から列ができる繁盛ぶり。午後二時には予定の四百食が完売。

スタンプラリーお楽しみ抽選会場本部で、抽選者からの鍋人気の聴き取り集計の結果、当会の強力な支援の下、じないまち交流館職員女性六人が調理・味付けした「ぼたん鍋」が四年連続「Best of 鍋」賞の第一位に輝きました。(事務局)

字どおり難行苦行です。それから皆揃って大峰山寺の本堂にお参りします。本堂には修験道の開祖「役の行者」様の彫像がございいます。この像は、池に映ったお姿を自らほられたそう、左右が逆になつています。像の前で般若心経を唱えるのですが、暗闇の中で眼が異様に光っているのが恐ろしくて、正視できなかつたのを覚えています。お参りを終えて、再び龍泉寺宿坊に戻つて下山です。「富永島毛組」の定宿の洞川温泉西儀旅館に着くとほつとしたことを思い出します。お風呂、夕食を終えて、旅館のげたを履いて大人のあとをついて温泉街をぞろぞろ。今はなくなりまして、そのころはスマートボール、射的、パチンコなど遊び場がたくさんあり、とてもにぎやかでした。しばらく遊ばせてもらつて宿に戻つて寝るのですが、大広間で皆一緒に寝るのが楽しくて、私たちが子供はまくら投げをしたりして大騒ぎしました。なぜか叱られなかったのが不思議でした。ひとしきり騒ぐと皆疲れて寝入ってしまったが、楽しかった思い出です。

翌日は、吉野の源義経の隠れ堂のある金峯山寺、龍泉寺、蔵王堂にお参りをし、吉野駅から富田林へ帰りました。駅に着いて白鉢巻、たすき姿で歩いていますと、見知らぬおばあさんがいきなり私の股をくぐりはじめました。何事かとびっくりしましたが、聞きますと、山上参りを

寺内町四季物語二〇一三「春」 富田林じないまち雑めぐり

第七回「じないまち雑めぐり」が三月九日(土)・十日(日)に開催されました。初日は、ぽかぽか陽気の素晴らしい青空に恵まれました。二日目は、あいにく昼前から雨が降り出し、午後には冬のような寒さとなりましたが、二日間一、〇〇〇人(富田林駅南地区まちづくり協議会発表)と過去一番の人出となりました。

両当日は、寺内町を中心に百力所ちかくにお雑めが飾られ、他にも富田林のええもん市・伝統工芸品展・子供手作り雑め形展、お茶会等々と数多くの催しがありました。初日は、カメラを構えた年配者、和服姿の女性達、家族連れ等々、来客は、思い思いに、白壁・格子・焼板の寺内町の中をゆつたりと散策されていました。二日目も雨の中、多くの方が傘をさしながら、熱心に展示個所に向かつておられました。お雑めを飾つて下さった住民の方々、参画・運営下さった方々、来訪下さった方々等々、皆様お疲れ様でした。(事務局)

した新客の股をくぐると、元気で長生きをするという言い伝えがあるそうです。結局家に着くまでに4人のお年寄りが私の股をくぐりました。がんばつてきたよと得意げな顔をして帰ると、母がごころうさまと出迎えてくれました。

次回からは、その後の山上参りのこと、「役の行者」様のこと、「役講」のこと、「開、閉扉式」の事などを書きたいと思つています。(堺町 和田孝雄)

編集雑感

富田林寺内町を目指す方向をめぐつて、当会ではしばしば「賑わい」か「おちつき」かが議論になります。

これに関連して、先日、以下のような体験をしました。私の家の蔵には長持が何竿もありました。その内の五竿に一つは使うあてもありませんので、先月、周りの人に「譲ります」と声をお掛けしたところ、幸い希望される方達が見つかり、四竿は貰つて頂きました。また今月になって五竿目の貰手も決まりました。

ある近くのお店の方の場合、若し人達6、7名を連れて来られて、皆でそのお店まで長持を担いで運びました。収まりよく据え付けた時は皆で拍手をしました。数日後、そのお店を訪れると、長持が磨かれて陶器の展示台として存在感を發揮していました。このようにお店の人やその仲間の人達と住民との触れ合いがあれば楽しいものです。これも寺内町の歴史と文化に調和した「適度な賑わい」と共に「適度なおちつき」のある状態ではないかと感じました。

広報部会

- 以上は私の感想ですが、「賑わい」か「おちつき」かに関して、皆様は日々どのように感じてもらえますか。是非、交流館等にご意見・ご感想を寄せていただければと思います。今後それらを共有して議論を深めていきたいと思つています。(西林町 中井隆洋)
- 部長 中井隆洋
副部長 和田孝雄
委員 岡田昌治
委員 和田幸雄
委員 柳本恵三
委員 西野哲夫
委員 戸田善一
委員 田中實 (順不同)